

SR-1000

スタンドアロン統合メディアブロック™

フィールドアップグレード可能な内蔵シネマオーディオ
プロセッサオプション

5.1/7.1
Surround
Sound

dts surround
cinema
powered by **GDC**

dts **x**
DTS:X™ for IAB
powered by **GDC**



SR-1000は、比類のない音質で映画館を豊かにするための内蔵オーディオオプションを提供します。特にプレミアム・ラージ・フォーマット (PLF) シアターを含む専門的な映画館に最適で、SR-1000は標準の5.1/7.1サラウンドサウンド、強化されたバスマネジメントを備えたDTSサラウンド、またはIAB (インディペンデント・オーディオ・ベース) オブジェクト型の没入型オーディオで、映画館全体に優れたオーディオを提供します。

SR-1000は、以下の4つのコスト効果の高い内蔵シネマオーディオ処理オプションを提供します：

1. 5.1/7.1シネマオーディオプロセッサ
2. DTSサラウンドオーディオプロセッサ
3. DTS:Xを使用した15.1シネマオーディオプロセッサ (IABレンダリング対応)
4. 最大32チャンネルのDTS:X (IABレンダリング対応)



GDCテクノロジーは、ISO 9001:2015認証を取得しています。

Copyright © 2025 GDC Technology Limited. All rights reserved. このパンフレットに記載されているすべての商標は、それぞれの所有者の所有物です。仕様は、製品の開発・改良のため予告なく変更されることがあります。

フィールドアップグレード可能な内蔵シネマオーディオプロセッサオプション

シネマオーディオプロセッサライセンスは、リモートで購入することができ、オプションの内蔵シネマオーディオプロセッサ機能のロックを解除することができます。

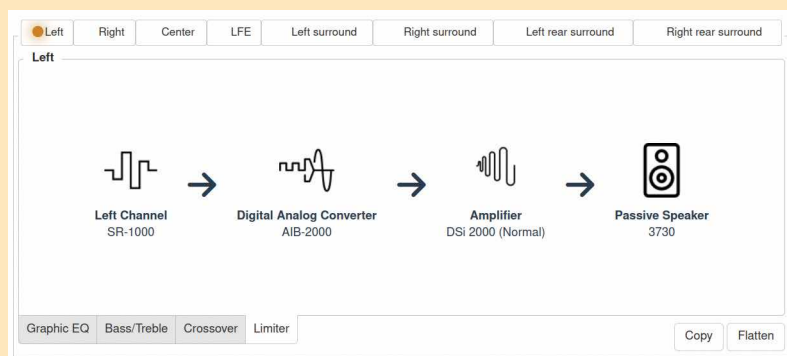
DTSサラウンドオーディオプロセッサ

DTSサラウンド・オーディオ・プロセッサ・オプションは、DTSサラウンドクオリティの5.1/7.1サラウンド・サウンド再生を提供します。バス・マネージメント機能により、サラウンド・チャンネルからの低域を左右のバス・マネージメント専用サブウーファーに正確にリダイレクトし、重低音再生におけるサラウンド・スピーカーの限界を補います。

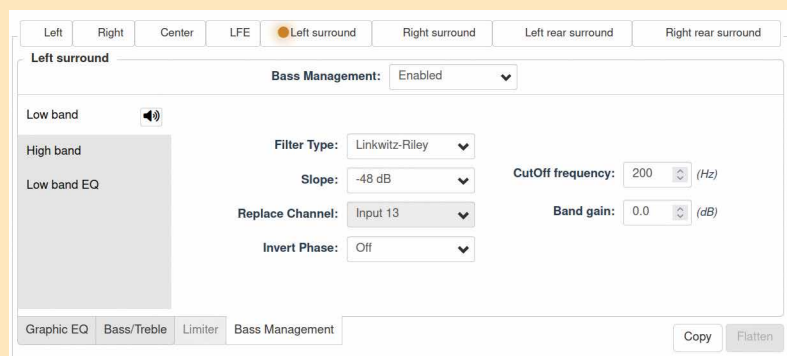


内蔵されたオーディオ処理エンジンは、SR-1000ユーザーインターフェースを介して、劇場のサウンドシステムの正確なキャリブレーションを実現します。

- DTSサラウンド・ベース・マネージメントと3バンド・パラメトリックEQ(各サラウンド・チャンネルの高域と低域のフィルター・タイプ、スロープ、カットオフ周波数、ゲイン、位相を独立に選択できます)**
- 8チャンネル・オーディオ・リミッター**
- 最先端のDTSサラウンド・チューニング手法
- 独立した低音と高音のコントロールを備えた1/3オクターブのグラフィックEQ(非LFEチャンネル)
- パラメトリックEQ(LFEチャンネル専用の一般的なLFE設定またはSMPTE標準LFE設定の選択)
- 選択可能なフィルタータイプと設定可能なスロープを備えた3ウェイクロスオーバー
- フェーダー(ゲイン調整)、グローバルディレイ、各チャンネルディレイ
- ブースモニター出力
- シグナルジェネレーター内蔵、フェードイン/フェードアウト時間設定可能なミュート、ワイドダイナミックレンジ
- オーディオ入力レベル表示、簡単な設定のバックアップとリストア
- チャンネル・ルーティング&複製



オーディオ・リミッター：
オーディオ機器を保護します



ベース・マネージメント：
サラウンド・チャンネルの低域
レスポンスを拡張します

15.1シネマオーディオプロセッサ

15.1シネマオーディオプロセッサを内蔵、DTS:X for IABの設置が可能です。



** アクティブ、パッシブ両方のスピーカークロスオーバーに対応しております。

DTSサラウンドシネマ

DTSサラウンドシネマは、映画鑑賞体験を向上させる動的で詳細なオーディオ環境を提供します。先進的なDTSターゲットカーブ、フルレンジのサラウンドサウンド、バスマネジメント、最先端のチューニング技術を使用して、クリアなセリフ、深い低音、そして広範囲にわたる音のカバレッジを実現します。DTSサラウンドシネマでは、映画ごとに製作者の意図が反映され、微妙な足音から轟音の爆発音まで、あらゆる音の詳細が鮮やかに再現され、シーンごとの感情的・感覚的なインパクトが強化されます。

DTS Surround Cinema

およそ **70%** の

映画業界プロフェッショナルがDTSサラウンドシネマのクオリティを認めました

DTSサラウンドシネマの劇場

DTSサラウンドシネマとして認定を受けるためには、スピーカー配置がDTSサラウンドシネマのガイドラインに従っている必要があります。この配置は、フルレンジのサラウンドスピーカーを含み、DTSターゲットカーブを厳密に守ることで最適なオーディオパフォーマンスを実現します。また、DTSサラウンドシネマの認定プロセスには、DTS認定技術者による現地評価が含まれており、最高基準への適合が確認されます。

主な利点

1 標準の5.1/7.1 DCP形式を使用

DTSサラウンドオーディオプロセッサを内蔵したシアターや認定されたDTSサラウンドシネマでは、SMPTEおよびインタオペレーション標準のDCPを5.1/7.1サラウンドオーディオトラックで再生できます。

2 映画ごとに意図通りの音を再現

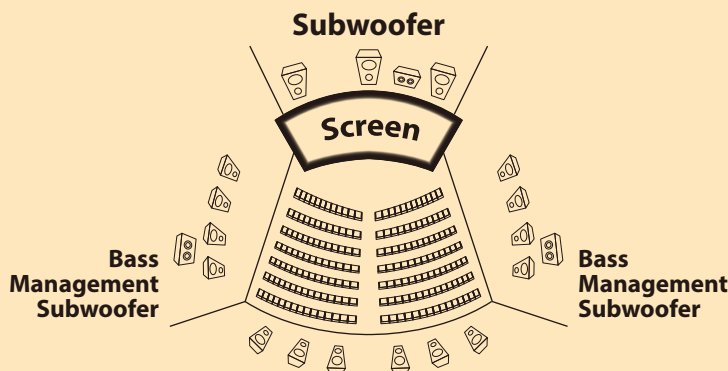
DTSターゲットカーブ、フルレンジサラウンド、バスマネジメント、最先端のチューニング技術により、DTSサラウンドは驚くべき音質を提供し、より強烈で没入感のあるリスニング体験を生み出します。足音や風の音、雷の轟音などの微細な詳細も鮮明に聞こえます。

3 DTS:X for IABへのステップアップ

認定されたDTSサラウンドシネマには、DTS:Xインストールのコアコンポーネントが含まれており、簡単にDTS:X for IABにアップグレードできます。

4 映画鑑賞者に強い印象を与える

- 1993年から、DTSブランドは革新と最高品質のサウンドを象徴しています。
- 手頃な価格でDTS承認のプレミアムオーディオを提供し、劇場内外で使用するためのマーケティング資料も完備しています。



免責事項: 約70%という数字は、バンコクで開催されたCineAsia 2023において、200人以上の映画関係者が参加した2回のブラインドテストセッションで実施されたアンケートに基づいています。

DTS:X for IAB

GDCテクノロジーとDTS社は、国際的な没入型オーディオ標準であるIABをサポートするDTS:Xを提供するために協力しています。DTS:XとIABは、音のオブジェクトを音響空間内の特定の場所（観客の前、後ろ、上、横など）に正確に配置することで、音の流動的な動きを正確に伝え、音響空間を豊かにするオブジェクトベースの没入型サウンドフォーマットです。これにより、映画制作者が意図した音の動きが再現されます。

GDCの統合メディアブロックは、DTS:XとIABの没入型オーディオフォーマットをサポートしています。IABは、単一の相互運用可能なオーディオフォーマットを提供する重要なマイルストーンを示しており、映画スタジオはDTS:X対応のスクリーンに向けて没入型オーディオコンテンツを効率的に配信できるようになり、映画制作者の意図通りに音を再生します。DTS:X for IABは現在、世界中で導入されており、PLFスクリーンにおける映像技術プロバイダーと提携しています。これには、プロジェクションやLEDスクリーンも含まれています。



DTS:X for IAB 没入型サウンド劇場

SR-1000 IMBは、DTS:X for IAB技術を備えた劇場を作成するための3つのDTS:X for IAB没入型オーディオアップグレードオプションを提供しています。

- 1 内蔵15.1シネマオーディオプロセッサー、外部プロセッサーは不要
- 2 最大32チャンネルに対応する強力なDTS:X for IABデコーダー
- 3 AES67標準に基づいたオーディオオーバーイーサネット (AoE)

主な利点

- 1 **オブジェクトベースのオーディオ精度:**
オブジェクトベースのオーディオ技術は、複数のオブジェクトを同時に処理し、観客の周囲や上空を音が滑らかに動く際の精密な位置合わせを実現します。
- 2 **柔軟なスピーカー構成:**
あらゆるサイズの劇場に適しています。
- 3 **コスト効率の良い改造:**
他の没入型サウンドシステムと比較して最大50%のコスト削減が可能です。
- 4 **後方互換性:**
既存の5.1および7.1システムと互換性があります。
- 5 **映画鑑賞者に強い印象を与える:**
 - 1993年から、DTSブランドは革新と最高品質のサウンドを象徴しています。
 - プレミアムトレーラー、デジタルおよび物理的資産、映画館向けのプレミアムコンセプト作成支援を含むマーケティングサポートを提供します。

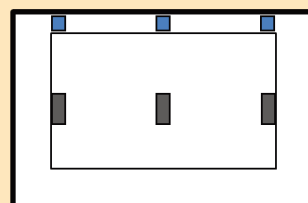
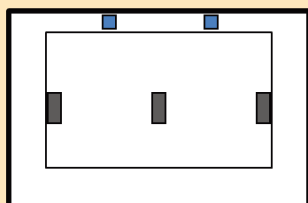
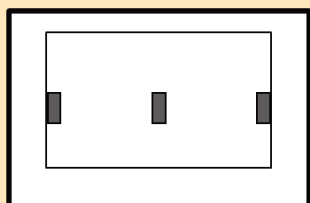


DTS:X for IAB: 柔軟なスピーカー構成

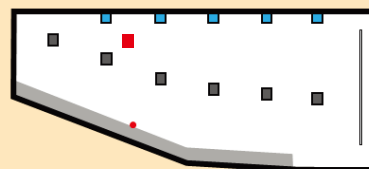
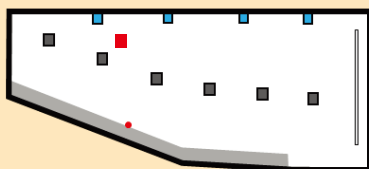
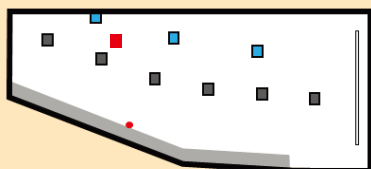
DTS:XがIABをサポートするシステムは、3層のサウンドシステムを特徴としています[^]:

- 1 ベースレイヤー**: 典型的な5.1または7.1構成のすべてのスピーカーをカバーします。
- 2 高さレイヤー**: DTS:X劇場では、没入感を高め、特定の上方エフェクトをサポートするために、壁や天井、またはその両方に追加の高さスピーカーを使用する必要があります。
- 3 補助サブウーファー**: サラウンドスピーカーのネイティブ応答が40Hz以上でロールオフする場合、補助サブウーファーと適切な低音管理処理を組み合わせることで、優れたサラウンドサウンド再生を提供します。

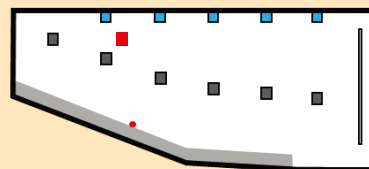
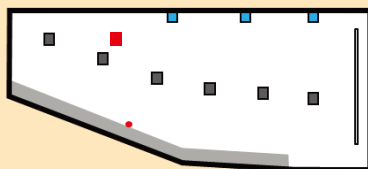
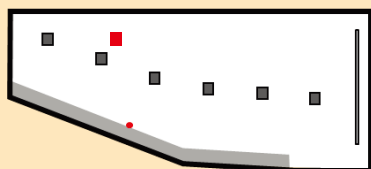
スクリーンウォールスピーカーオプションを示す前面ビュー



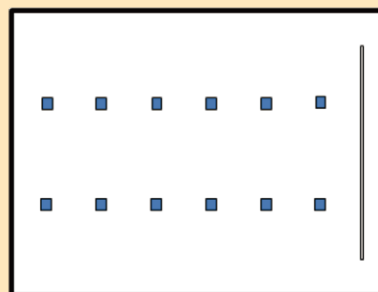
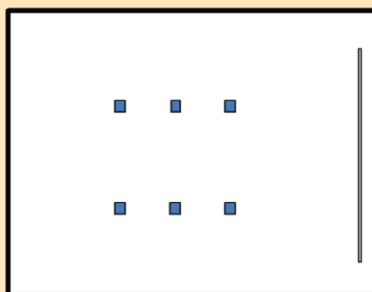
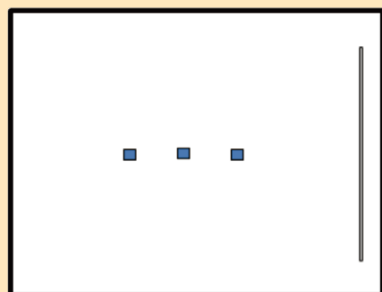
天井スピーカーを使用しない映画館のサイドウォールスピーカーおよびサラウンドサブウーファーオプションを示す側面ビュー^{^^}



天井スピーカーを含む映画館のサイドウォールスピーカーおよびサラウンドサブウーファーオプションを示す側面ビュー



天井スピーカーオプション



[^] 構成図は参照用です

^{^^} DTSは天井スピーカーの使用を強く推奨しております

SR-1000 IMB向けの総合オーディオソリューション

GDCは、SR-1000に特化して設計された多様なオプションオーディオコンバータを提供しており、複数のオーディオフォーマット間での互換性とスムーズな統合を実現します：

- **AIBシリーズ：** AIB-2000およびAIB-3000は、それぞれ8チャンネルおよび16チャンネルの高品質なデジタル-アナログ変換器 (DAC) です。これらはアナログアンプ、マイク、メディアプレーヤーなどの補助的オーディオ入力を提供します。さらに、AIB-3000は、すべての主要なDCIサーバーと互換性のある16チャンネルオーディオプロセッサで、強化された低音管理を備えたDTS Surroundを提供します。
- **DACシリーズ：** AES3デジタルオーディオ入力をアナログ出力に変換する、8、12、16、24、32チャンネル構成のデジタル-アナログ変換器。
- **AE-6703：** AES3とAES67オーディオ標準間のギャップを橋渡しする32x32チャンネル双方向変換器。



フェーダーリモート

GDC IMBに組み込まれたシネマオーディオプロセッサとシームレスに統合されるよう設計されたフェーダーリモート、FR-2000およびFR-1000を紹介します。両方のフェーダーリモートは、将来のニーズに対応できるよう拡張可能なオーディオコントロールユーザーインターフェースを備えています。

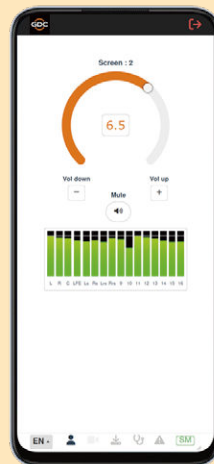
主な利点

FR-2000

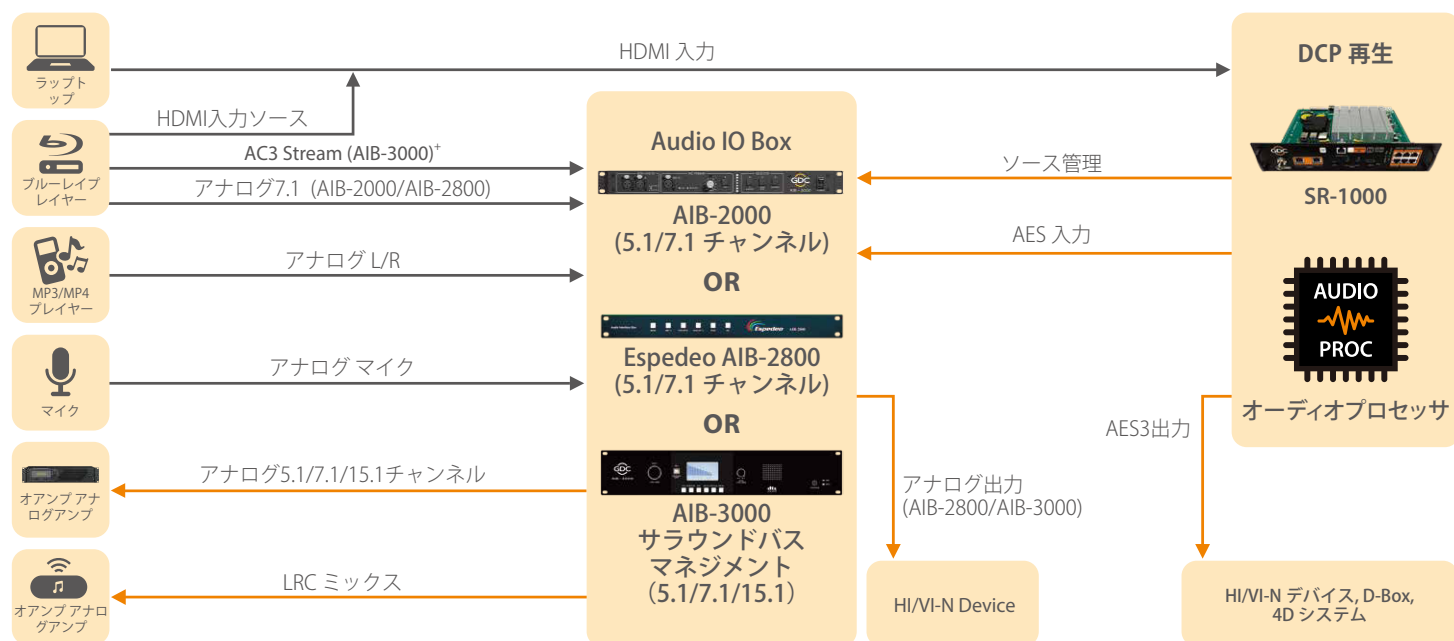
- 1 優れた視認性のための大きな画面
- 2 テーブルまたは壁取り付けに適した設計
- 3 Wi-Fiおよび有線イーサネット接続

FR-1000

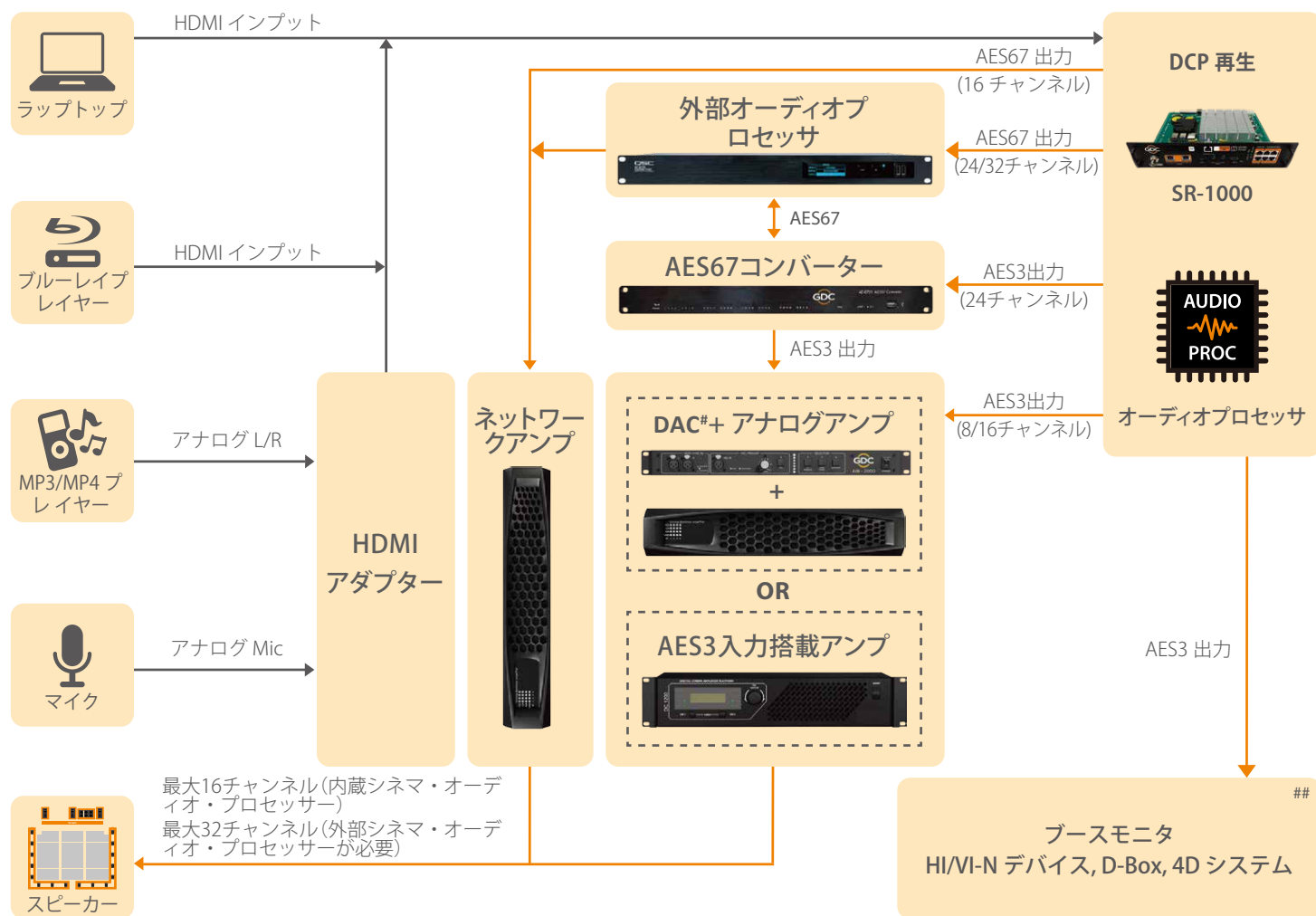
- 1 コスト効果的
- 2 コンパクトで、どんなブースセットアップにも最適
- 3 Wi-Fi接続



SR-1000IMBおよび外部オーディオ機器とインターフェースするオプションのオーディオIOボックス*



デジタル/アナログアンプ搭載のSR-1000 IMB用ソリューション*



* AIB-3000のHM-100オプションは、HDMIおよびSPDIF入力を提供します。

* 実際のシステム構成は、特定のアプリケーション要件によって異なる場合があります。オーディオインターフェースボックスの仕様は異なる場合があります。

詳細については、GDCにお問い合わせください。

最大32chのデジタルAES3-Analogコンバーター。

システム構成により異なります。